

科目名	ミライを楽しむための思考トレーニング			Subject	Training of thinking method for enjoyable future			
サブタイトル	ビジネスで使う理論を使って、自分の人生について考えてみよう！							
科目基本情報			ディプロマポリシー「主な学習効果」					
開講年次	開講時期	必修／選択	DP 1 知識・技能	DP 2 主体的行動力	DP 3 課題解決能力	DP 4 多様な価値観や考え方を理解し、受け入れる能力	DP 5 日本の伝統と文化を理解し、美意識を備えて行動できる能力	DP 6 美しく生きる力を実践できる能力
1 年	後期	選択						
授業形態	単位	時間						
演習	1 単位	30 時間						
ゲストスピーカー招聘回				○	◎	○		○
教員名	鳥羽瀬 建			メールアドレス	ken.tobase@skycampus.jp			
教員の略歴	外資系コンサルティングファームで戦略チームに所属。数多くの企業のビジョン策定、事業戦略策定、M&A、組織変革プロジェクトに従事。コンサルタントに向けての論理的思考法と課題解決法に関する研修を担当。現在は当該研修を中心に様々な研修を数多くの企業に提供している。							
実践的教育	コンサルティング実務の経験や、実施した論理的思考力、課題発見・解決力研修の思想を活用する。							
オフィスアワー	授業の前後３０分に直接声をかけてください。							

科目の概要								
突然ですが、未来ってどうなっていると思いますか？１０年後。２０年後。３０年後。。わからないですよね。そうなんです。ここ２０年、世の中が変化するスピードはどんどん速くなっています。だから今や、完全に未来が分かるなんてことは不可能です。それなのに、あなたはどうかしたいの？なんて聞かれることはあります。無茶ですよ。未来がどうなっているかもわからないのに。でも、実はやり方があるんです。自分のなりたい姿を思い描き、なりたい姿になるためのやり方が。この授業では、そのやり方を皆さんに教えます。これができるようになると、どんなに変化の大きな世の中であっても、将来どうなるんだろうという漠とした不安はなくなり、毎日前向きに楽しく生きることが出来ます。今のような世の中にこそ、必要なチカラなのではないでしょうか。そして、実は企業も同じことで困っています。先が読めないのに計画を立てろって言われるので、仕方なく適当な計画を立ててうまくいかず、株主に怒られます。そんな企業が編み出したやり方のひとつが、今回みなさんにお教える内容です。ビジネスの世界にもそのまま使えるので、将来みなさんがビジネスを立ち上げたときや就職先の企業のことを考えるときにも有効な内容です。								
授業方法								
対面	オンライン	ハイブリッド	ディスカッション	プレゼンテーション	作品制作			
-	○	-	あり	あり	-			
授業の目標と関連するディプロマポリシー（ＤＰ）								
ディプロマポリシー	授業の目標							
ＤＰ３	データや様々な思考法を用いて、課題を分析、解決策を想定できる。							
ＤＰ２	社会や自分の状況を把握し、設定した目標を達成するためのプロセスを設定できる。							
ＤＰ４	自分とは異なる価値観や考え方を持つ人々の社会的・文化的背景を理解し、尊重することができる。							
ＤＰ６	自分が豊かな人生を送るための考え方を説明することができる。							
教科書・教材								
教科書	教員作成資料							
参考文献	なし							
各自準備教材	なし							
評価方法								
筆記試験	実技試験	受講態度	小テスト	レポート	プレゼンテーション	作品	課題	その他
-	-	-	-	50%	50%	-	-	-
①最終プレゼンテーション（50%） 授業の最終回で発表していただくプレゼンテーションの内容で評価します。 ②小レポートおよび期末レポート（50%） 各授業毎の小レポートと期末レポートの内容で評価します。 評価の視点は①、②どちらも「論理性」です。 なお、出席数が不足の場合は評価対象とはしません。								
課題（試験やレポート）のフィードバックの方法								
小レポートについては次回授業時に総括コメントを返します。								
履修上の条件・注意								
小レポートは、授業を振り返ることで知識を定着させる効果があります。積極的な記入をお願いします。 グループワークは様々な考え方が拮抗することでアウトプットの品質が上がります。グループ全員、議論への積極的な参加をお願いします。 ※何らかの社会的な状況変化等の諸般のやむを得ない事情により、授業方法、授業計画、評価方法等を変更する場合があります。								
本科目履修と関連する資格								
なし								

授業計画				
	授業内容	到達目標	時間外学習（予習・復習）	時間（分）
第 1 回	オリエンテーション。授業の狙いとゴールを共有する。ゴールに至るステップを理解する。出席者同士の信頼関係をつくる。	本授業の目的とスケジュールを理解し、説明することができる。 計画策定のステップについて理解し、説明することができる。	【予習】じぶんの将来計画を立てるための方法について考える 30 分 【復習】計画策定のステップについて学習内容を確認する 30 分	60 分
第 2 回	外部環境① 日本や世界における社会変化の概要を学ぶ。社会のさまざまな情報を調査する方法を学ぶ。	今後の世界の動向について理解し、説明することができる。 外部環境情報の調査方法を理解し、説明することができる。	【宿題】与えられたテーマについて、社会の現状、動向についてグループごとに調査してまとめる。60 分	60 分
第 3 回	外部環境② 社会の変化について調査結果を報告・共有する。	社会の現状やさまざまな変化について、自分の力で調査し、まとめることができる。	【復習】他グループの発表内容について、内容を確認し振り返る。60 分	60 分
第 4 回	わたしの価値観① ひとりひとりが持つ価値観の見つけ方を学ぶ。	価値観・ミッションについて理解し、説明することができる。価値観を検討するアプローチについて理解し、説明することができる。	【宿題】各自価値観とキャッチコピーをまとめてくる 60 分	60 分
第 5 回	わたしの価値観② コーチングの技術を用いて、各々の価値観を対話で深める。多様な価値観の存在に気づく。	コーチングの基礎技術を使って話し合うことができる。多様な価値観の存在を認識できるようになる。	【予習】他者からのフィードバックを受けて、自身のミッションを再検討してくる 60 分	60 分
第 6 回	いまのあなたの棚卸し① スキルの構造について学ぶ。 自らのスキルの棚卸しの仕方について学ぶ。	人間が持つ「スキル・能力」について理解し説明することができる。スキル・能力の洗い出し方について理解し説明することができる。	【宿題】自分のスキル・能力の棚卸しを行う 60 分	60 分
第 7 回	いまのあなたの棚卸し② 他者との対話の中から、自分のスキルや資産への気づきを得る。	対話を通じて自分のスキルや資産についての気づきを得ることができる。対話において生産的なフィードバックをすることができる。	【宿題】対話した結果に基づき、自分のスキル・能力の追加・修正を行う 60 分	60 分
第 8 回	なりたい姿を創り出す① あなたが将来なりたい姿（ビジョン）の作り方について学ぶ。	ビジョンについて理解し、説明することができる。ビジョン策定のステップについて理解し、説明することができる。	【宿題】ビジョンワークを完了させる 60 分	60 分
第 9 回	なりたい姿を創り出す② さまざまな角度からじぶんを見つめることによってビジョンを作る方法を学ぶ。	対話を通じて自分のビジョンへの気づきを得ることができる。対話において生産的なフィードバックをすることができる。	【宿題】フィードバックの結果に基づき、ビジョンの修正を行う 60 分	60 分
第 10 回	なりたい自分との差の埋め方（戦略）を決める① 戦略の定義を学ぶ。ビジョンとの差の埋め方を考える方法を学ぶ。	戦略という言葉について理解し、説明することができる。SWOT 分析について理解し、説明することができる。	【宿題】自身の SWOT 分析を完了させる 60 分	60 分
第 11 回	なりたい自分との差の埋め方（戦略）を決める② 他者との対話の中から、自ら策定した戦略への気づきを得る。	対話を通じて自分の戦略への気づきを得ることができる。対話において生産的なフィードバックをすることができる。	【宿題】フィードバックの結果に基づき、戦略の修正を行う 60 分	60 分
第 12 回	ビジョンに向けての歩き方① ビジョンに向けて具体的に日々何をするのか（アクションプラン）を導出する方法について学ぶ。	KGI と KPI、アクションプランについて理解し、説明することができる。	【宿題】KGI と KPI、アクションプランの設定を完了させる 60 分	60 分
第 13 回	ビジョンに向けての歩き方② KPI と KGI、アクションプランについて対話の中から気づきを得る。	対話を通じて KGI、KPI、アクションプランへの気づきを得ることができる。対話において生産的なフィードバックをすることができる。	【宿題】フィードバックを受けて KPI、KGI、アクションプランを追加・修正する。60 分	60 分
第 14 回	ビジョンに向けての歩き方③ 計画の進み具合について確認する方法を学ぶ。じぶん戦略とビジネス戦略との関連性を学ぶ。	計画を達成するための運用方法について説明することができる。じぶん戦略のビジネスへの応用について説明することができる。	【宿題】一言プレゼンテーションをまとめる。60 分	60 分
第 15 回	プレゼンテーション	ポイントを簡潔にまとめて人に伝えることができる。	【復習】ほかの人のプレゼンテーションを聞いて得たインスピレーションをまとめる。	60 分